

「経験・知見の蓄積・共有（住宅）」事例調査報告・・・・・・・ 2

「新しい発想や手法の開発実現」に関する報告・・・・・・・ 20

フォーラムの設置・運用について・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

2025年4月11日

末吉 一成
外国人材拡大プレイス事務局

「経験・知見の蓄積・共有（住宅）」事例調査報告 （アンケート）

	第1回アンケート （前回フォーラム終了時実施）	第2回アンケート	第3回アンケート
目的	実施中のコスト削減（効率化）策を知る	コスト削減（効率化）策内容を知る	内容について、掘り下げる（当方から質問する）
内容	コスト削減（効率化）策	コスト削減（効率化）を思い立った理由 コスト削減（効率化）方策実施コスト 方策実施のための要点（体制、外部連携先、など） 実施結果の評価 その他、自由意見	第2回回答内容を基に当方（外国人材拡大プレイス事務局）が質問表を作成し回答を得る

※第2回アンケートにおいて日本語教育、介護教育に関するアンケート回答はありませんでした

「住宅」費用対効果策アンケート回答者

回答者	「住宅」費用対効果策の概要
法人1	・技能実習・特定技能で24人在籍（札幌・北広島・南幌地区21人、室蘭地区3人） ・札幌市厚別区、北広島市、南幌町に社宅4か所（設置順） ①社宅用に建設してもらい新築1棟借り（2人部屋7室） ②社宅用に建設してもらい新築1棟借り（2人部屋3室、1人部屋5室） ③理事長が中古物件を購入して改修して法人に貸出（1人部屋6室） ④5月オープン予定で法人建物を改修して社宅に転用（1人部屋11室） ・室蘭地区については海外従業員の数が少ないためレオパレスを借りています。 （「住宅」以外） 有料職業紹介・登録支援機関である会社から比較的安価な紹介料と登録支援料を設定してもらっている。同時に、日本語学習や介護福祉士取得サポートを含めて総合的なきめの細かいサポートをしてくれることが大切です。 人材紹介だけではなく、現地での面接、現地の障がい者センターの支援、職員対象に海外研修の実施等を実施し、お金だけではなく、法人全体が成長し、またアジア諸国の福祉の発展への貢献の要素も大切にしています。 また、単に経費を削減するだけでない費用対効果もたくさんあります。
法人2	大規模なものはありませんが、外国人材を受け入れる際は毎回複数名を受け入れているため、目ぼしいアパートが決まった時に不動産会社や直接大家さんに複数の部屋を借りることを条件に家賃の値下げ交渉や家電の設置を依頼するようにしている。 これまではその結果家賃の値下げや冷蔵庫、洗濯機などの家電の設置をしていただいているため、外国人材本人の負担軽減につながっております。
法人3	市民の方から使わないこたつや電気毛布を分けて頂いた。 服や自転車なども頂いた。
法人4	住宅のコスト削減、物品購入費の削減。

※法人1：社会福祉法人えぼっく

お願い

外国人介護人材コストの削減（効率化）の本格的取り組みは、始まったばかりで試行錯誤の段階だと受け止めています。

従って、標準的あるいは模範的な方法や手法は見当たりません。

大事なことは、参加されている皆様が、講師の皆さまが、経験・知見を出し合い、今回より次回、次回より次々回とレベルアップしていくことだと考えています。
 フォーラム参加者の皆様に情報提供をお願いし、ご提供いただいた情報をアンケート結果としてそのまま報告するものです。

一流のプロスポーツにおいて、互いの目標に向かって同僚の選手や相手チームの選手をリスペクトするように、
 講師の皆様と情報提供にご協力をいただいた法人の方、ご担当の方に気持ちを思いやっただけたらと思います。

1 コスト削減(効率化)策

■費用対効果向上策の概要

大規模なものはありませんが、外国人材を受け入れる際は毎回複数名を受け入れているため、目ぼしいアパートが決まった時に不動産会社や直接大家さんに複数の部屋を借りることを条件に家賃の値下げ交渉や家電の設置を依頼するようにしている。

これまではその結果家賃の値下げや冷蔵庫、洗濯機などの家電の設置をしていただいているため、外国人材本人の負担軽減につながっております。

(質問)	(回答)
Q1-1 地域における賃貸住宅の物件数の状況はどのようなか教えていただけないでしょうか。	A1-1(Q1-1に対するご回答) ・当法人の地理的な問題で、毎日の送り迎えの送迎を施設職員で行っているため、居住範囲が限定しており、またその中で外国人材が居住可能なアパートも限られているため、対象となる物件数はとても少ないです。費用を抑えるために2名1部屋を希望されることが多いのですが、事業所の周りに当てはまるアパートがない、もしくは外国人の契約不可となっております。
Q1-2: 大家さんとの住宅の賃貸借契約の当事者は御法人でしょうか、それとも外国人材本人なのでしょうか	A1-2(Q1-2に対するご回答): ・アパートの賃貸借契約は原則本人と結んでいただいております、法人では連帯保証人となっております。
Q1-3: アパートを探すルートはどのようなものがありますか。主要なものを教えてください	A1-3(Q1-3に対するご回答) ・事業所周辺の賃貸情報をネットで検索し、取り扱っている不動産会社に連絡する ・すでに契約している不動産会社数社に条件に当てはまる物件の情報提供を依頼する
Q1-4: 御法人は外国人材採用計画を作られ、それに従って採用されているのですね。 住宅確保のために動かれるタイミングやスケジュールはどのようにされていますか。教えてください	A1-4(Q1-4に対するご回答) ・採用が確定し、おおよその入国時期が決まったら、アパート情報の収集を開始する。(入国の2～3か月前) ・条件に合致した物件情報を管理団体へ送り、本人に確認してもらう(約2か月前) この時点で、本人の希望にマッチした物件をいくつかピックアップし、情報を提供する ・本人が物件にOKとなりましたら、不動産会社との詳細な打ち合わせを行う(入国の1か月前) 契約条件や必要事項を確認し、スムーズに進められるよう準備を進める。 ・申し込み書類やパスポート等の必要情報の提供する(入国の1か月前) ・入国日が決まったら、確定の見積もりを、本人にも周知する。(入国の1か月前) ・契約に必要な書類の準備や連帯保証人として必要な書類の準備する。(入国の2～3週間前) ・電気・ガス・水道・Wi-Fi環境の契約や準備する(入国の1～2週間前) まとまった人数が、同時に契約するため、スムーズに新生活を始められるよう、できるだけ事前に環境を整えておく
Q1-5: 家賃・電気製品の負担軽減を本人に説明されますか？ より良い効果に結び付けるための説明のスタンスと要点を教えてください	A1-5(Q1-5に対するご回答) ・アパート決める段階で、候補のアパートの家賃や間取りを送って見ていただき、その際に家電やインターネット状況などを仲介会社通して本人に伝えていただいております。そこで第一候補となった物件の不動産会社や大家さんと交渉し、家賃が下がった分は改めて本人たちに伝えていただいております。

2 コスト削減（効率化）を思い立った理由	
アンケート回答 外国人材の負担軽減のため	
（質問）	（回答）
Q2-1: 家賃は全額外国人材本人の負担でしょうか？御法人の負担はありますか？	A2-1（Q2-1に対するご回答） ・全額本人負担となります。10,000円以上の家賃のアパートに住んでいる外国人材には毎月10,000円の住居手当を支給しております。
Q2-2: 外国人材の負担軽減ということは、本人の手取りを増やすということでしょうか。 それはどのような効果を期待してのことでしょうか。	A2-2（Q2-2に対するご回答） ・他の地域に比べて給与水準が低いため、なるべく手取り額を増やして仕送りや自由に使えるお金が増えるようにし、転職防止や定着に繋がるようにと考えております。

3 コスト削減（効率化）方策実施コスト	
アンケート回答 交渉役の本部職員のひと手間だけです	
（質問）	（回答）
Q3-1: 「ひと手間ですませる」には要点を押さえられているからだと思います。それら要点をお差支えのない範囲で教えてください。	A3-1（Q3-1に対するご回答） ・初期費用を抑えるため、とりあえずこちらの要望を伝えてみています（例えば、敷金をなくし退去時に実費請求にしてもらえないか交渉する、“学生対象”で記載のあった入居時の家電設置をお願いする等） 無理なこともありますし、受け入れてもらえることもあります。ほかの提案をいただけることもあります。 ・また、家賃の減額を実現できた理由についてもお伝えいたします。これまで契約してる当法人の外国人材の功績が大きく、具体的には家賃の不払いがないことや、他の契約者との良好な関係が築けていることが挙げられます。大家さんと外国人本人の双方にとって良好な関係を構築できるよう努めており、そのために間に入りお話をさせていただいております。 ・大家さんからの要望があれば、本人へしっかりとお伝えして対応しています。また、外国人の入居者が困っていることについて、積極的に不動産会社に伝えて対応してもらっています。本人たちが自ら問い合わせを行うのは難しい場合が多いため、法人が間に入り円滑に対応できるよう努めています。このような形でサポートを行うことで、住みやすい環境を整え、彼らが少しでも長く勤め、アパートも長く借りてもらえるという好循環を目指しています。

4 実施結果の評価

アンケート回答

- ・家賃の値下げ(月額3,000円程度)
- ・家電(洗濯機、冷蔵庫)の設置

(質問)	(回答)
Q5-1: 値下げ3,000円/月について、お差支えない範囲で教えてください。値下げ前の金額はいくらくらいだったのでしょうか、あるいは3,000円は値下げ前の金額の何%に相当するのでしょうか	A5-1 (Q5-1に対するご回答) ・山形市において、6名の同時契約の条件のもと35,000円の家賃を5,000円値下げ(約14.2%) これにより、不動産会社の紹介料も5000円安くなりました。(不動産会社紹介料:1か月分賃料) ・南陽市において、3名の同時契約の条件のもと33,000円の家賃を3,000円値下げ(約9.0%) これにより、不動産会社の紹介料も5000円安くなりました。(不動産会社紹介料:1か月分賃料) ・賃借人賠償保険を法人の取引のある保険会社にも見積もり依頼し、不動産会社で加入の場合と比較し3500円安く加入した。
Q5-2: 家電(洗濯機、冷蔵庫)は、部屋付きの設備であって大家さんの所有物ということでしょうか	A5-2 (Q5-2に対するご回答) ・そうです。ネット検索時に、キャンペーンをしており、学生対象で記載のあった入居時の家電設置を対象にしていただけでないか聞いてみました。(6名同時契約)

1 コスト削減(効率化)策

■費用対効果向上策の概要

市民の方から使わないこたつや電気毛布を分けて頂いた。
服や自転車なども頂いた。

(質問)	(回答)
Q1-1 そもそも論ですが、こたつや電気毛布など電気製品をそろえる費用負担は外国人材本人でしょうか御法人でしょうか。	A1-1(Q1-1に対するご回答) 費用負担は外国人材本人です。
Q1-2: こたつや電気毛布など電気製品を寄付していたくことについて ・御法人の地域の中にリユース(再利用)運動などの社会基盤があったのでしょうか。あるのでしたら具体的に教えてください。	A1-2(Q1-2に対するご回答): 特に施設として以前より何かあった訳ではありません。

2 コスト削減(効率化)を思い立った理由

アンケート回答

市民の方との交流にもつながり、地域に少しでもなじんでほしいと思っている。

(質問)	(回答)
Q2-1: 市民の方との交流にもつながる仕掛けがあるのでしょうか。市民の方が参加する仕掛け、外国人材本人が参加する仕掛けなど具体的な事例にについて教えていただけないでしょうか	A2-1(Q2-1に対するご回答) 市内では「蚤の市」という市内の行政が毎月されている催しがあります。 そこに足を運ぶことで、市内でこんな外国の方が頑張っていると感じてもらえきっかけに繋がっています。 そこでの出会いから、市内でインドカレーをふるまう企画を考えてくださったり、絵の好きなスタッフが絵画展を行ったりし、市内外の方と交流できる機会が生まれました。

3 コスト削減(効率化)方策実施コスト

アンケート回答

職員1人が担当しています。

(質問)	(回答)
Q3-1: ご担当の職員(1人)の業務負担は、例えばどれくらいの業務時間を充てておられるのでしょうか	A3-1(Q3-1に対するご回答) 必要に応じます。引越しのタイミングは丸一日かかります。初めての冬の前には、市内の寄付して下さる方の家を伺わさせて頂くこともあります。 何もないときは何もありません。 業務時間がどれくらいかかっているかは正確なことは分かりません。 スタッフの希望があれば動くようにしています。

4 方策実施のための要点(体制、外部連携先、など)

アンケート回答

感謝して頂く。

(質問)	(回答)
Q4-1: 感謝の気持ちを伝えるための具体的な仕掛け、あるいは手法があれば教えてください「が如何でしょうか。	A4-1(Q4-1に対するご回答) 何も仕掛けはありません。外国人材が自分たちからお礼をしっかりとってくれます。

5 実施結果の評価	
アンケート回答 生活費の節約。	
(質問)	(回答)
Q5-1: 「生活費の節約」とは。外国人材本人がこたつや電気毛布などそろえる費用負担がなくなったということを指すのでしょうか、あるいは他のことを指しているのでしょうか。	A5-1 (Q5-1に対するご回答) 「生活費の節約」とは。外国人材本人がこたつや電気毛布などそろえる費用負担がなくなったということを指します。

6 その他、自由意見
アンケート回答 畑をしたいスタッフは家の庭を畑にして植えたりしています。 プランターを使って、栽培されている方もいます。 彼女たちの癒しや趣味も兼ねていますね。

法人4

1 コスト削減(効率化)策	
■費用対効果向上策の概要 住宅のコスト削減、物品購入費の削減。	
(質問)	(回答)
Q1-1 住宅費の費用負担者について ・住宅費の費用負担者は法人と外国人材本人の2者でしょうか。それとも法人、本人のいずれかでしょうか。	A1-1(Q1-1に対するご回答) 2者となります。 現在受け入れている技能実習生の住宅については、1棟を法人で借り上げて職員寮としており、実習生の負担は月額10,000円となります。今後、職員寮がない地域に関しましては、法人が賃貸契約を行い、技能実習生は月額10,000円、特定技能は月額30,000円の負担とし、差額を法人が補填する予定です。
Q1-2: そのようにされた理由を教えてくださいませんか	A1-2(Q1-2に対するご回答): 住宅費用を法人負担とすると採用コストが高くなるため。
Q1-3: 日本人職員に対する住宅費と外国人材に対する住宅費について法人としての捉え方や対応策に違いがありますか。	A1-3(Q1-3に対するご回答) 日本人は家賃等含め自身で納得した上で住宅を選択できるが、外国人材は選択肢がほぼない(法人が準備した住宅になる)。そのような状況も踏まえ、住宅費の自己負担額を検討した。

2 コスト削減(効率化)を思い立った理由	
アンケート回答 今後の採用スケジュールを検討する中で、少しでもコスト削減をし、職員に還元していくことが必要	
(質問)	(回答)
Q2-1: 職員とは、具体的には外国人職員を指すのでしょうか。	A2-1(Q2-1に対するご回答) 外国人職員です。
Q2-2: 「今後の採用スケジュール」と「職員に還元していくことが必要」の間をもう少し詳しく教えていただけないでしょうか	A2-2(Q2-2に対するご回答) 受入事業所および受け入れ人数(総数)を増やしていくよていです。 現在は1事業所で計2名受入、令和7年度に追加で3事業所・計6名の受入予定です。 外国人材でもより良い人材を採用するにあたり、コストを削減して給与に還元(給与が増えるように)するべきと考えている。

3 コスト削減(効率化)方策実施コスト

アンケート回答

物品については職員への寄付等と呼び掛け、その上で必要なものを購入しました。

法人初の技能実習生は法人がアパートを一棟借り上げました。

そうすることで、個々での契約と比べ低いコストでの住宅確保ができました。

(質問)	(回答)
Q3-1: 「法人初の技能実習生は」とありますが、その後の外国人材に対してはどのような住宅確保策を取っておられますか。	A3-1 (Q3-1に対するご回答) 特にありません。法人で賃貸物件を探して必要な部屋数を契約する予定です。
Q3-2: 「アパートを一棟借り上げ」策を採られた経緯をお差支えのない範囲で教えてください。とくにメリット、デメリットをどのように予想され、結果はどうだったのかなど。	A3-2 (Q3-2に対するご回答) 現在受け入れている外国人材が住む職員寮について、外国人材用に借り上げたわけではありません。もともと賃貸物件が少ない地域だったため、日本人も含め職員(正規)の寮として借り上げました。メリット…リクルートの上で1つの強みとなった。1部屋辺りの家賃コストが下がった。デメリット…本人契約でないため、法人が補填する費用(=コスト)がかかる。また、常に満室ということではなく、空き部屋もある。(余分な部屋を借りている状態)
Q3-3: 「個々での契約と比べ低いコストでの住宅確保ができました」について。お差支えのない範囲で、数字で教えていただけないでしょうか。	A3-3 (Q3-3に対するご回答) お応えいたしかねます。
Q3-4: 「物品については職員への寄付等と呼び掛け、その上で必要なものを購入」について。御法人が購入されたのでしょうか。この費用に対して外国人材本人の費用負担ありますか？また費用の会計処理について教えていただけないでしょうか。	A3-4 (Q3-4に対するご回答) 寄付等で集まらなかった備品については法人が購入しており、本人負担はありません。会計処理についてはお応えいたしかねます。
関連質問Q3-5: 「一棟借り上げ」は貸主側にも大きなメリットがあるように思います。地域の社会福祉法人が連携して「一棟借り上げ」の声を上げれば、潜在的な貸主が顕在化するのではないかと思います。いかがでしょうか。	関連質問Q3-5 (Q3-5に対するご回答) 確かに、地域の社会法人と連携して行うことでのメリットはあります。しかしながら、法人の事業所場所が点在しており、また各法人が受入可能または予定している事業所の場所も広域であり、また受入時期や人数なども異なります。その中で複数法人が連携して1棟を借り上げるのは中々現実的ではないと考えております。また、1棟借り上げられる賃貸も中々ないのも現状です。

1 コスト削減(効率化)策

■費用対効果向上策の概要

大規模なものはありませんが、外国人材を受け入れる際は毎回複数名を受け入れているため、目ぼしいアパートが決まった時に不動産会社や直接大家さんに複数の部屋を借りることを条件に家賃の値下げ交渉や家電の設置を依頼するようにしている。

これまではその結果家賃の値下げや冷蔵庫、洗濯機などの家電の設置をしていただいているため、外国人材本人の負担軽減につながっております。

(質問)	(回答)
Q1-1 地域における賃貸住宅の物件数の状況はどのようなか教えていただけないでしょうか。	A1-1 (Q1-1に対するご回答) ・当法人の地理的な問題で、毎日の送り迎えの送迎を施設職員で行っているため、居住範囲が限定しており、またその中で外国人材が居住可能なアパートも限られているため、対象となる物件数はとても少ないです。費用を抑えるために2名1部屋を希望されることが多いのですが、事業所の周りに当てはまるアパートがない、もしくは外国人の契約不可となっております。
Q1-2: 大家さんとの住宅の賃貸借契約の当事者は御法人でしょうか、それとも外国人材本人なのでしょうか	A1-2 (Q1-2に対するご回答): ・アパートの賃貸借契約は原則本人と結んでいただいております、法人では連帯保証人となっております。
Q1-3: アパートを探すルートはどのようなものがありますか。主要なものを教えてください	A1-3 (Q1-3に対するご回答) ・事業所周辺の賃貸情報をネットで検索し、取り扱っている不動産会社に連絡する ・すでに契約している不動産会社数社に条件に当てはまる物件の情報提供を依頼する
Q1-4: 御法人は外国人材採用計画を作られ、それに従って採用されているのですね。 住宅確保のために動かれるタイミングやスケジュールはどのようにされていますか。教えてください	A1-4 (Q1-4に対するご回答) ・採用が確定し、おおよその入国時期が決まったら、アパート情報の収集を開始する。(入国の2～3か月前) ・条件に合致した物件情報を管理団体へ送り、本人に確認してもらう(約2か月前) この時点で、本人の希望にマッチした物件をいくつかピックアップし、情報を提供する ・本人が物件にOKとなりましたら、不動産会社との詳細な打ち合わせを行う(入国の1か月前) 契約条件や必要事項を確認し、スムーズに進められるよう準備を進める。 ・申し込み書類やパスポート等の必要情報の提供する(入国の1か月前) ・入国日が決まったら、確定の見積もりを、本人にも周知する。(入国の1か月前) ・契約に必要な書類の準備や連帯保証人として必要な書類の準備する。(入国の2～3週間前) ・電気・ガス・水道・Wi-Fi環境の契約や準備する(入国の1～2週間前) まとまった人数が、同時に契約するため、スムーズに新生活を始められるよう、できるだけ事前に環境を整えておく
Q1-5: 家賃・電気製品の負担軽減を本人に説明されますか？ より良い効果に結び付けるための説明のスタンスと要点を教えてください	A1-5 (Q1-5に対するご回答) ・アパート決める段階で、候補のアパートの家賃や間取りを送って見ていただき、その際に家電やインターネット状況などを仲介会社通して本人に伝えていただいております。そこで第一候補となった物件の不動産会社や大家さんと交渉し、家賃が下がった分は改めて本人たちに伝えていただいております。

2 コスト削減（効率化）を思い立った理由

アンケート回答

外国人材の負担軽減のため

（質問）	（回答）
Q2-1: 家賃は全額外国人材本人の負担でしょうか？御法人の負担はありますか？	A2-1（Q2-1に対するご回答） ・全額本人負担となります。10,000円以上の家賃のアパートに住んでいる外国人材には毎月10,000円の住居手当を支給しております。
Q2-2: 外国人材の負担軽減ということは、本人の手取りを増やすということでしょうか。 それはどのような効果を期待してのことでしょうか。	A2-2（Q2-2に対するご回答） ・他の地域に比べて給与水準が低いため、なるべく手取り額を増やして仕送りや自由に使えるお金が増えるようにし、転職防止や定着に繋がるようにと考えております。

3 コスト削減（効率化）方策実施コスト

アンケート回答

交渉役の本部職員のひと手間だけです

（質問）	（回答）
Q3-1: 「ひと手間です済ませる」には要点を押さえられているからだと思います。それら要点をお差支えのない範囲で教えてください。	A3-1（Q3-1に対するご回答） ・初期費用を抑えるため、とりあえずこちらの要望を伝えてみています（例えば、敷金をなくし退去時に実費請求にしてもらえないか交渉する、“学生対象”で記載のあった入居時の家電設置をお願いする等）無理なこともありますし、受け入れてもらえることもあります。ほかの提案をいただけることもあります。 ・また、家賃の減額を実現できた理由についてもお伝えいたします。これまで契約してる当法人の外国人材の功績が大きく、具体的には家賃の不払いがないことや、他の契約者との良好な関係が築けていることが挙げられます。大家さんと外国人本人の双方にとって良好な関係を構築できるよう努めており、そのために間に入りお話をさせていただいております。 ・大家さんからの要望があれば、本人へしっかりとお伝えして対応しています。また、外国人の入居者が困っていることについて、積極的に不動産会社に伝えて対応してもらっています。本人たちが自ら問い合わせを行うのは難しい場合が多いため、法人が間に入り円滑に対応できるよう努めています。このような形でサポートを行うことで、住みやすい環境を整え、彼らが少しでも長く勤め、アパートも長く借りてもらえるという好循環を目指しています。

4 実施結果の評価

アンケート回答

- ・家賃の値下げ(月額3,000円程度)
- ・家電(洗濯機、冷蔵庫)の設置

(質問)	(回答)
Q5-1: 値下げ3,000円/月について、お差支えない範囲で教えてください。値下げ前の金額はいくらだったのでしょうか、あるいは3,000円は値下げ前の金額の何%に相当するのでしょうか	A5-1 (Q5-1に対するご回答) ・山形市において、6名の同時契約の条件のもと35,000円の家賃を5,000円値下げ(約14.2%) これにより、不動産会社の紹介料も5000円安くなりました。(不動産会社紹介料:1か月分賃料) ・南陽市において、3名の同時契約の条件のもと33,000円の家賃を3,000円値下げ(約9.0%) これにより、不動産会社の紹介料も5000円安くなりました。(不動産会社紹介料:1か月分賃料) ・賃借人賠償保険を法人の取引のある保険会社にも見積もり依頼し、不動産会社で加入の場合と比較し3500円安く加入した。
Q5-2: 家電(洗濯機、冷蔵庫)は、部屋付きの設備であって大家さんの所有物ということでしょうか	A5-2 (Q5-2に対するご回答) ・そうです。ネット検索時に、キャンペーンをしており、学生対象で記載のあった入居時の家電設置を対象にしていただけでないか聞いてみました。(6名同時契約)

1 コスト削減(効率化)策

■費用対効果向上策の概要

市民の方から使わないこたつや電気毛布を分けて頂いた。
服や自転車なども頂いた。

(質問)	(回答)
Q1-1 そもそも論ですが、こたつや電気毛布など電気製品をそろえる費用負担は外国人材本人でしょうか御法人でしょうか。	A1-1(Q1-1に対するご回答) 費用負担は外国人材本人です。
Q1-2: こたつや電気毛布など電気製品を寄付していたくことについて ・御法人の地域の中にリユース(再利用)運動などの社会基盤があったのでしょうか。あるのでしたら具体的に教えてください。	A1-2(Q1-2に対するご回答): 特に施設として以前より何かあった訳ではありません。

2 コスト削減(効率化)を思い立った理由

アンケート回答

市民の方との交流にもつながり、地域に少しでもなじんでほしいと思っている。

(質問)	(回答)
Q2-1: 市民の方との交流にもつながる仕掛けがあるのでしょうか。市民の方が参加する仕掛け、外国人材本人が参加する仕掛けなど具体的な事例にについて教えていただけないでしょうか	A2-1(Q2-1に対するご回答) 市内では「蚤の市」という市内の行政が毎月されている催しがあります。 そこに足を運ぶことで、市内でこんな外国の方が頑張っていると感じてもらえきっかけに繋がっています。 そこでの出会いから、市内でインドカレーをふるまう企画を考えたさったり、絵の好きなスタッフが絵画展を行ったりし、市内外の方と交流できる機会が生まれました。

3 コスト削減(効率化)方策実施コスト

アンケート回答

職員1人が担当しています。

(質問)	(回答)
Q3-1: ご担当の職員(1人)の業務負担は、例えばどれくらいの業務時間を充てておられるのでしょうか	A3-1(Q3-1に対するご回答) 必要に応じます。引越しのタイミングは丸一日かかります。初めての冬の前には、市内の寄付して下さる方の家を伺わさせて頂くこともあります。 何もないときは何もありません。 業務時間がどれくらいかかっているかは正確なことは分かりません。 スタッフの希望があれば動くようにしています。

4 方策実施のための要点(体制、外部連携先、など)

アンケート回答

感謝して頂く。

(質問)	(回答)
Q4-1: 感謝の気持ちを伝えるための具体的な仕掛け、あるいは手法があれば教えてください「が如何でしょうか。	A4-1(Q4-1に対するご回答) 何も仕掛けはありません。外国人材が自分たちからお礼をしっかりとってくれます。

5 実施結果の評価	
アンケート回答 生活費の節約。	
(質問)	(回答)
Q5-1: 「生活費の節約」とは。外国人材本人がこたつや電気毛布などそろえる費用負担がなくなったということを指すのでしょうか、あるいは他のことを指しているのでしょうか。	A5-1 (Q5-1に対するご回答) 「生活費の節約」とは。外国人材本人がこたつや電気毛布などそろえる費用負担がなくなったということを指します。

6 その他、自由意見
アンケート回答 畑をしたいスタッフは家の庭を畑にして植えたりしています。 プランターを使って、栽培されている方もいます。 彼女たちの癒しや趣味も兼ねていますね。

法人4

1 コスト削減(効率化)策	
■費用対効果向上策の概要 住宅のコスト削減、物品購入費の削減。	
(質問)	(回答)
Q1-1 住宅費の費用負担者について ・住宅費の費用負担者は法人と外国人材本人の2者でしょうか。それとも法人、本人のいずれかでしょうか。	A1-1(Q1-1に対するご回答) 2者となります。 現在受け入れている技能実習生の住宅については、1棟を法人で借り上げて職員寮としており、実習生の負担は月額10,000円となります。今後、職員寮がない地域に関しましては、法人が賃貸契約を行い、技能実習生は月額10,000円、特定技能は月額30,000円の負担とし、差額を法人が補填する予定です。
Q1-2: そのようにされた理由を教えてくださいませんか	A1-2(Q1-2に対するご回答): 住宅費用を法人負担とすると採用コストが高くなるため。
Q1-3: 日本人職員に対する住宅費と外国人材に対する住宅費について法人としての捉え方や対応策に違いがありますか。	A1-3(Q1-3に対するご回答) 日本人は家賃等含め自身で納得した上で住宅を選択できるが、外国人材は選択肢がほぼない(法人が準備した住宅になる)。そのような状況も踏まえ、住宅費の自己負担額を検討した。

2 コスト削減(効率化)を思い立った理由	
アンケート回答 今後の採用スケジュールを検討する中で、少しでもコスト削減をし、職員に還元していくことが必要	
(質問)	(回答)
Q2-1: 職員とは、具体的には外国人職員を指すのでしょうか。	A2-1(Q2-1に対するご回答) 外国人職員です。
Q2-2: 「今後の採用スケジュール」と「職員に還元していくことが必要」の間をもう少し詳しく教えていただけないでしょうか	A2-2(Q2-2に対するご回答) 受入事業所および受け入れ人数(総数)を増やしていくよていです。 現在は1事業所で計2名受入、令和7年度に追加で3事業所・計6名の受入予定です。 外国人材でもより良い人材を採用するにあたり、コストを削減して給与に還元(給与が増えるように)するべきと考えている。

3 コスト削減(効率化)方策実施コスト

アンケート回答

物品については職員への寄付等と呼び掛け、その上で必要なものを購入しました。
法人初の技能実習生は法人がアパートを一棟借り上げました。
そうすることで、個々での契約と比べ低いコストでの住宅確保ができました。

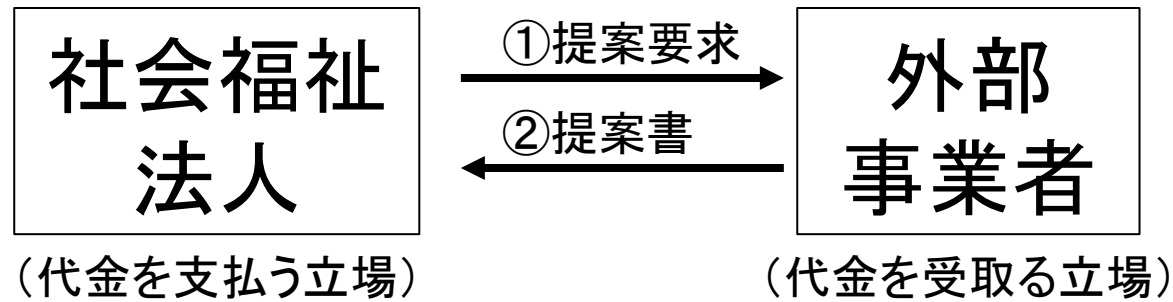
(質問)	(回答)
Q3-1: 「法人初の技能実習生は」とありますが、その後の外国人材に対してはどのような住宅確保策を取っておられますか。	A3-1 (Q3-1に対するご回答) 特にありません。法人で賃貸物件を探して必要な部屋数を契約する予定です。
Q3-2: 「アパートを一棟借り上げ」策を採られた経緯をお差支えのない範囲で教えてください。とくにメリット、デメリットをどのように予想され、結果はどうだったのかなど。	A3-2 (Q3-2に対するご回答) 現在受け入れている外国人材が住む職員寮について、外国人材用に借り上げたわけではありません。もともと賃貸物件が少ない地域だったため、日本人も含め職員(正規)の寮として借り上げました。メリット…リクルートの上で1つの強みとなった。1部屋辺りの家賃コストが下がった。デメリット…本人契約でないため、法人が補填する費用(=コスト)がかかる。また、常に満室ということではなく、空き部屋もある。(余分な部屋を借りている状態)
Q3-3: 「個々での契約と比べ低いコストでの住宅確保ができました」について。お差支えのない範囲で、数字で教えていただけないでしょうか。	A3-3 (Q3-3に対するご回答) お応えいたしかねます。
Q3-4: 「物品については職員への寄付等と呼び掛け、その上で必要なものを購入」について。御法人が購入されたのでしょうか。この費用に対して外国人材本人の費用負担ありますか？また費用の会計処理について教えていただけないでしょうか。	A3-4 (Q3-4に対するご回答) 寄付等で集まらなかった備品については法人が購入しており、本人負担はありません。会計処理についてはお応えいたしかねます。
関連質問Q3-5: 「一棟借り上げ」は貸主側にも大きなメリットがあるように思います。地域の社会福祉法人が連携して「一棟借り上げ」の声を上げれば、潜在的な貸主が顕在化するのではないかと思います。いかがでしょうか。	関連質問Q3-5 (Q3-5に対するご回答) 確かに、地域の社会法人と連携して行うことでのメリットはあります。しかしながら、法人の事業所場所が点在しており、また各法人が受入可能または予定している事業所の場所も広域であり、また受入時期や人数なども異なります。その中で複数法人が連携して1棟を借り上げるのは中々現実的ではないと考えております。また、1棟借り上げられる賃貸も中々ないのも現状です。

「新しい発想や手法の開発実現」に関する報告

(ご参考までに)

私論1

当たり前ですが、取引は
「提案要求することから始める！」が大事



私の経験(シンクタンク)

人任せ(外部事業者任せ)顧客は、「悪い顧客！」(信頼されていると思うと嬉しいが)

→そのような顧客は我が事として意思形成(契約仕様内容等)の下に提案要求がなされない

→組織の意思(契約仕様内容等)がコロコロ変わり、

→外部事業者としてはやる気もダウン、手戻りなどムダが多く生まれコストアップ。相互信頼も薄れ、

→結局、顧客側も外部事業者側も費用対効果ダウン

明快な意思の下に提案要求してくる顧客は、大変だが「良い顧客」

→初めから契約仕様内容等の提案要求がある

→契約仕様内容等が明確で手戻り等なく、高品質 & 双方費用対効果アップ

費用対効果アップの鍵 → 我が事として提案要求をすることと、その提案要求の質向上
(振り返ることができるように記録)

本フォーラム参加申込時アンケート結果(有効回答数 90)

2025/4/11

		外部機関の協力を得る際の外部機関から提案を得る手順					
		メモや文書で提案依頼を示し提案を得ている	口頭で提案依頼を行い提案を得ている	こちらから依頼する前に外部機関の方から提案してくるのでそれを利用	その他	無回答	計
御法人内の(企画)提案要求の作成	協議を行いメモや文書(見える化)の形にしている	29(32%)	9(10%)	9(10%)		1(1%)	48(53%)
	協議を行い口頭了解の形にしている	2(2%)	10(11%)	3(3%)	1(1%)		16(18%)
	担当者に任せている		2(2%)	6(7%)	1(1%)	1(1%)	10(11%)
	行っていない			2(2%)	5(6%)		7(8%)
	その他	1(1%)	1(1%)	1(1%)	6(7%)		9(10%)
	計	32(36%)	22(24%)	21(23%)	13(14%)	2(2%)	90(100%)

前回(25.1.29)報告後の検討状況

前回報告概要

現状認識

- 外国人介護人材受入れは初期試行的段階から継続的実行段階に移行しつつあるのではないか
- 継続的実行段階においては、継続性(安定性)のあるコストの削減(効率化)が必要
- 本日の報告で法人の皆様は、着実に努力を積み重ねられ実績をお作りになられていることが明らかになった。

目標

- 継続的実行をベースに更なるご経験・知見の蓄積・共有(活用)の好循環の仕組みづくりが望まれる
- 可能であれば、新しい発想や手法の開発実現も望ましい

セミナーの改変

- ・年間の主催セミナーの一部を、たとえば「外国人材コスト削減(効率化)」の切り口で成果を求める集会化
 - 目標成果1: 経験・知見の蓄積・共有
 - 方法 参加の皆様には、講演登壇、アンケートを通じてご経験・知見やご意見の情報提供をしていただく
 - 目標成果2: 新しい発想や手法の開発実現
 - 方法 新しい発想や手法開発コーナーを設置し、開発プロジェクトを産む(インキュベート)
- ・このために外国人材拡大プレイス事務局は、皆様と共に目標成果に向かって実現可能な仕組みづくりや開発を進める

※開発テーマ選定の視点

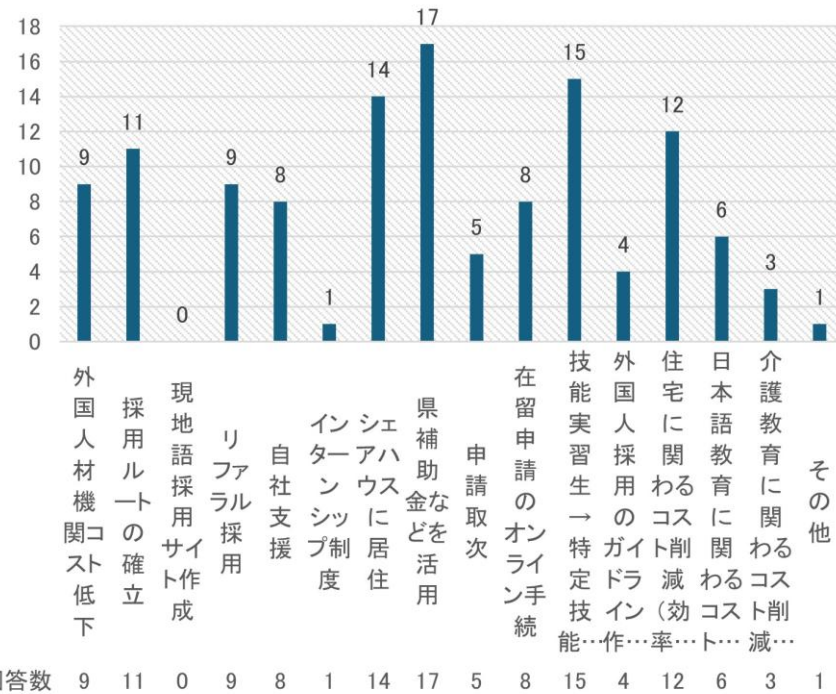
- 効率化 → 削減(効率化)事業の規模 → 規模の利益の検討
- 継続性(安定性) → 外国(人材)と日本(法人)のつながりの質と量 → 外国と日本(法人)との循環性の検討
 - ※外国⇄日本(法人)外国人材が結ぶ外国と日本(法人)のつながり…超将来的ですが。

コスト削減(効率化)策の現状、今後、集団への期待(比較)ーアンケート結果ー

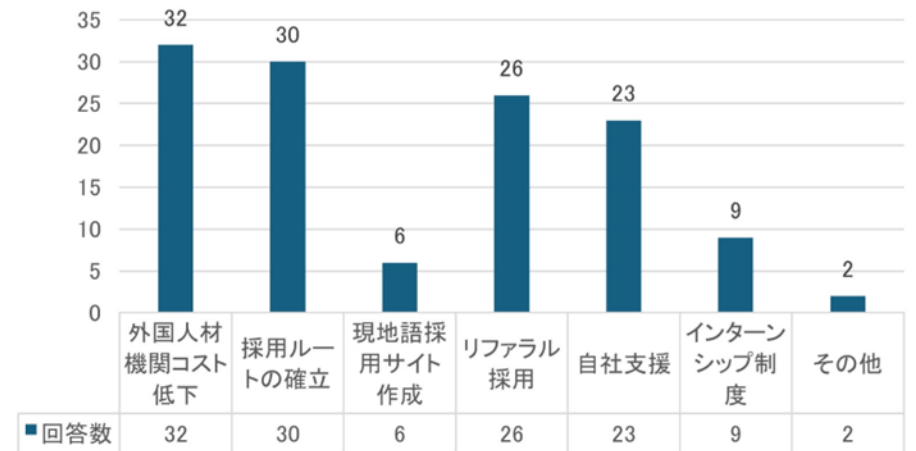
2025/1/29介護外国人材セミナー「外国人材コストの削減(効率化)対策の現状とあり方」終了後実施

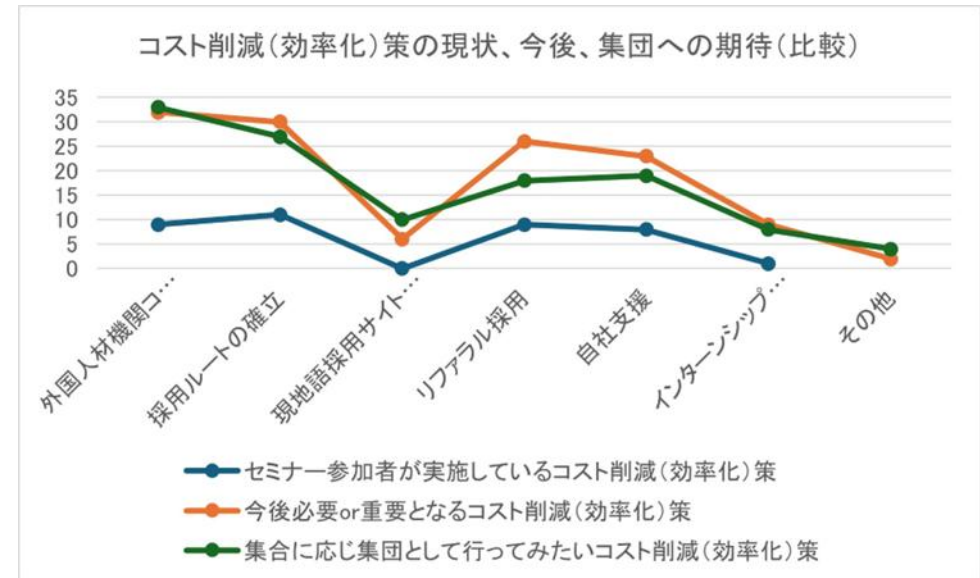
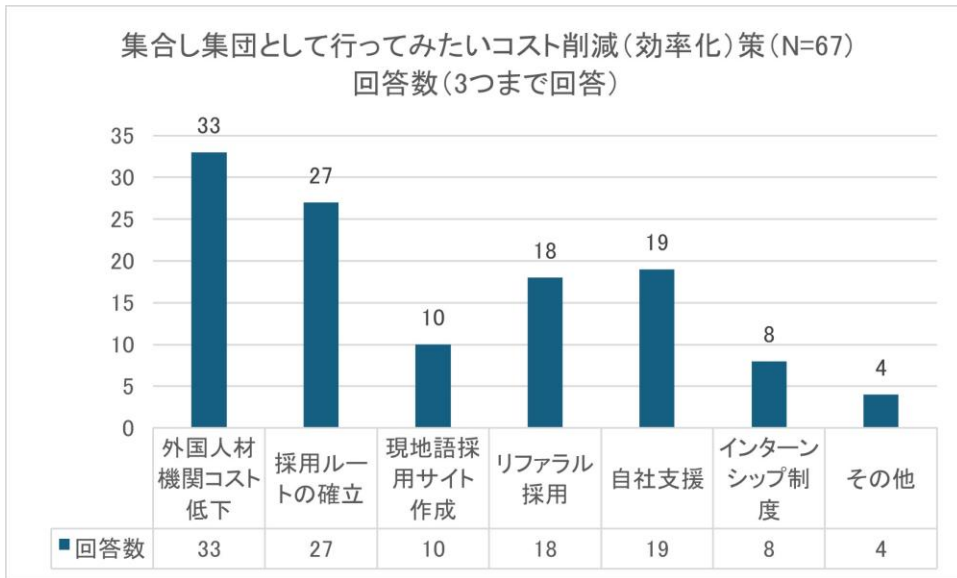
視聴申込者 174名
 実際の視聴者 ZOOM 103名
 YouTube 12名
 計 115名
 回答者 67名
 回答率 58%(=67/115)

セミナー参加者が実施しているコスト削減(効率化)策
回答数(3つまで回答)



今後必要or重要となるコスト削減(効率化)策(N=67)
回答数(複数回答)





この他:サイトに掲載中 https://www.humanplace.jp/page_wp_adv.asp?tid=4214

外国人材コスト削減(効率化)セミナー開催結果(2024/12/13、2025/1/29)の評価

外国人材コスト削減(効率化)セミナーのねらいと結果 ねらい

(問題意識)

外国人材雇用は継続的に行う段階に移行しているという認識の下、
法人ごとに

- ・採用、
- ・入職、
- ・定着(5年以内帰国)/長期定着(介護福祉士取得)、
- ・生活支援

に関わるコストの安定的な効率化を実現することが求められる。

(そのためには)

外国人材雇用に関し、

- ・経験・知見のたゆまぬアップデート
- ・新しい手法・方法の開発

が求められる。

しかし、社会福祉法人が単独で行うことは、事実上無理。

(ねらい)

適切な主体(例 外国人材拡大プレイス)が、セミナー参加の社会福祉法人の協力を得て

- ・経験・知見集(定期更新型(例 3か月ごと更新)づくりと共有
- ・新しい手法・方法の開発

を進め、社会福祉法人に公開する

(結果)

○経験・知見集(定期更新型(例 3か月ごと更新)

- ・集団質問と個別質問を組み合わせることにより、2か月で経験・知見をまとめた……………3P

○新しい手法・方法の開発

- ・例示として6つのプロジェクト候補が得られた(例 多数社会福祉法人参加型〇〇国特定技能生採用プロジェクト)……4～5P

コスト削減（効率化）策アンケート回答結果

	第1回 アンケート	第2回 アンケート	第3回 アンケート
目的	実施中のコスト削減(効率化)策を知る	コスト削減(効率化)策内容を知る	内容について、掘り下げる（当方から質問する）
内容	コスト削減(効率化)策	コスト削減(効率化)を思い立った理由 コスト削減(効率化)方策実施コスト 方策実施のための要点（体制、外部連携先、など） 実施結果の評価 その他、自由意見	第2回回答内容を基に当方（外国人材拡大プレイス事務局）が質問表を作成し回答を得る

	コスト削減（効率化）策（アンケート回答）	キーワード
法人1	シェアハウスに居住し、生活支援に関する費用の初期費用を抑えている。 また、県補助金などを活用し登録支援機関の紹介料などを抑えている。 当法人には20人の特定技能外国人がおり、3つの登録支援機関と契約しております。各機関が費用面で違いがあるため、敢えて3つの機関と契約し、費用逡減に努めています。	シェアハウスに居住 県補助金などを活用 外国人材機関コスト低下
法人2	現地語による外国人向け採用サイト作成やすでに勤務している外国人職員からの紹介による直接採用（登録支援機関や監理団体経由せず）。SNS発信等	現地語採用サイト作成 リファラル採用
法人3	登録支援機関を使用せず自社支援を行い、掛かる経費の削減を実施している。 自社支援と国内在住外国人採用紹介料一律150,000円	自社支援 紹介料一律〇円
法人4	自社支援による支援費の削減、 申請取次研修受講と在留申請オンラインシステム登録によるコスト削減と労力軽減、 登録支援機関として登録。	自社支援 申請取次 在留申請のオンライン手続
法人5	インターンシップ制度を利用して海外の大学（インドネシア）から当施設へ1年間研修に來ています。帰国後、大学を卒業した後、特定技能1号で入国し当施設で勤務する場合、業者に余分な手数料を支払わないためコスト削減になっています。	インターンシップ制度
法人6	本会は身分系在留資格、特定技能介護、EPA中途採用、留学生の在留資格を中心に採用ルートを確認し、結果的に採用単価を抑えることが可能なケースもあります。 身分系在留資格：定時制高校と連携し、在日外国人の採用を進めています。 留学生：近隣の日本語学校、介護福祉士養成校と連携し取り組みを進めています。 特定技能介護：静岡県と連携し取り組みを進めています。 EPA中途採用：リファラル採用を中心に進めています。	採用ルートの確立 ・身分系在留資格採用ルート ・留学生採用ルート ・特定技能介護採用ルート ・EPA中途採用採用ルート
法人7	技能実習生から特定技能実習に切り替えた事により削減になったと思います。	技能実習生→特定技能生
法人8	東京都内の仲介会社は数多くあり、吟味に時間がかかるが、 急ぐあまりその過程を省くとコストに影響があるだけでなく、 支援にも影響する。外国人採用のガイドラインは作成しているが、各施設での採用情報を法人で共有している。	外国人採用のガイドライン作成 各施設での採用情報を法人で共有

※法人1：社会福祉法人 豊明会 法人2：社会福祉法人 晋栄福祉会

新手法・方法開発プロジェクトテーマの例(2025/1/29時点)

効率化、継続性双方に寄与する新しい発想や手法の開発、経験・知見の蓄積・共有（活用）プロジェクト例						
						2025/1/29
新NO	コスト削減（効率化） 策キーワード	コストに関する着眼点	プロジェクト例			
			プロジェクト名例		経験・知識集	システム開発
1	外国人材機関コスト低下	コスト低下刺激策（例：多数法人による人材採用）	多数社会福祉法人参加型〇〇国特定技能生採用プロジェクト		○	
2	採用ルートの確立	ルートにある外部事業者に関する料金情報整備と交渉	多数社会福祉法人参加型採用ルート実績情報プロジェクト		○	
3	採用サイト作成	サイト構築・運用費用	多数社会福祉法人参加型外国人材採用サイトプロジェクト		○	○
4	リファラル採用	当該職員への謝礼等、情報発信費用（サイト構築・運用費用）	多数社会福祉法人参加型リファラル採用プロジェクト		○	○
5	自社支援	（法の範囲内）内製化→事業者のコストの一部が法人に移転	多数社会福祉法人参加型自社支援システム開発プロジェクト		○	○
6	インターンシップ制度	現地大学との契約費用、実習費用効率化	多数社会福祉法人参加型〇〇国インターンシッププロジェクト		○	

+

2025/4/11

新NO	コスト削減（効率化） 策キーワード	コストに関する着眼点	プロジェクト例			
			プロジェクト名例		経験・知識集	システム開発
7	建設してもらい一棟借り上げ社宅	建設費不要	多数社会福祉法人参加型〇〇地域一棟社宅プロジェクト		○	

介護外国人材 フォーラムの設置・運用について

セミナー(参加者が学ぶ)から、＋フォーラム(討論→結果重視)へ

外国人材コスト削減(効率化)セミナー開催結果(2024/12/13、2025/1/29)を踏まえ

目的

これまで

外国人材雇用の普及支援

6～10回/年

セミナー(講演)

参加資格: 特段設けず
参加費: 無料

セミナーページ

講演動画・資料共有



これから

(継続)外国人材雇用の普及支援
＋
(新規)外国人材雇用の継続支援

3～5回/年

セミナー(講演)

参加資格: 特段設けず
参加費: 無料

セミナーページ

講演動画・資料共有

3～5回/年

フォーラム(成果を目指して報告・討論)

例: フォーラム(コスト削減(効率化))

(成果目標の例示)

経験・知見集づくり(みんなで定期更新型経験・知見集)
新しい手法・方法の開発

経験・知見集ページ

新手法・方法開発ページ

参加資格: 設ける(例 社会福祉法人かつ希望者)

参加費: 無料or有料

※無料の範囲案: 視聴のみ無料。資料なし

※有料にする理由:

- ① 具体的成果を求める希望者に対する「シンクタンクサービス」であり、
- ② 成果を出すための費用が発生するため、
費用: 報告・アンケート協力への謝礼、アンケート設計・実施・結果分析費用、開発調査検討費用など

「介護外国人材フォーラム」設置について

趣旨 外国人材拡大プレイス事務局が「シンクタンク」として企画・進行管理を役割を担い、多くの社会福祉法人の方々が集まり経験・知見を交換し、より良い手法を開発する

目的 社会福祉法人の参加による

- ・経験・知見集(定期更新型(例 3か月ごと更新)づくりと共有、
- ・新しい手法・方法の開発を進めることを目的とする

事業 2つの柱

- ・フォーラム(全員に案内)
- ・ミニフォーラム(特別目的、少人数、成果は会員間で共有)

運営 フォーラム会員制度を設け会費等により運営する

- ・資格 社会福祉法人の方
 - ・経営協会員
 - ・非経営協会員
- ・会費(案) (金額は消費税込み)
 - ・経営協会員……月額 900円 (年額支払) 9,900円
 - ・非経営協会員……月額 1,300円 (年額支払) 15,000円
- ・会員に対しID、パスワードを発行

開始日 2025年6月1日(予定)

※詳細は、準備が整い次第ご案内を差し上げます。5月半ばの予定。

その他1 講師や経験・知見集作成にご協力をいただいた方には謝礼をお支払いいたします。

その他2 経験・知見集(Web版)を刊行します(有料)

その他3 フォーラム(全員に案内)はフォーラム会員でない方(社会福祉法人)も参加できますが、当日の視聴に限られ。資料の閲覧、動画視聴などのサービスは利用できません。

今後の介護外国人材フォーラムに関する予定

○本日のフォーラム終了後の「ご感想・ご意見」のアンケートにご協力下さい

・「ご感想・ご意見」に何でもお書きください。

・「住宅」についてご回答下さい

<https://ws.formzu.net/fgen/S52129332/>

○経験・知見集作成のテーマ選定について

○新しい手法・方法の開発のテーマ選定について

事務局でも検討を進めていますが、皆様のお考えやご意向を伺うために
5月にアンケート予定しております。ご協力下さい

○フォーラム/セミナーの予定

5月 セミナー「介護福祉士試験取得に向けての日本語教育の取り組み方」

6月 フォーラム・・・テーマ未定